

# ともだち

広島県立三原特別支援学校  
小学部第6学年 久保 弘生

ともた<sup>ち</sup>

夕保弘生

ころうせいりくんが<sup>い</sup>あど<sup>い</sup>てる  
ま<sup>い</sup>りるくんは<sup>ちか<sup>ら</sup>もち</sup>あど<sup>い</sup>てる  
はんりくんは<sup>い</sup>れい<sup>ほ</sup>ーす  
れおくんは<sup>すわ</sup>わっている  
ゆい<sup>ちか<sup>ら</sup>もち</sup>さん<sup>い</sup>は<sup>い</sup>て<sup>い</sup>る  
ひでおくんは<sup>い</sup>ち<sup>か</sup>ら<sup>もち</sup>  
つう<sup>き</sup>くんは<sup>い</sup>ち<sup>か</sup>ら<sup>もち</sup>  
こ<sup>い</sup>ろう<sup>き</sup>くんは<sup>い</sup>ち<sup>か</sup>ら<sup>もち</sup>

あかり<sup>さん</sup>は<sup>い</sup>ち<sup>か</sup>ら<sup>もち</sup>  
りや<sup>う</sup>やく<sup>くん</sup>は<sup>い</sup>ち<sup>か</sup>ら<sup>もち</sup>  
ゆう<sup>たくん</sup>は<sup>い</sup>ち<sup>か</sup>ら<sup>もち</sup>

あかり<sup>さん</sup>は<sup>い</sup>ち<sup>か</sup>ら<sup>もち</sup>

## ＜指導者の言葉＞

「個人別の課題学習」の授業で、テーマについて言葉や文章を考え、言葉をつなげたり文章を並び替えたりして、俳句や詩を作成する活動をしました。

授業では、前年度自分たちで作成した俳句集や、書籍化している詩集、アニメで俳句をよんでいるシーンを観るなどして、俳句や詩についてイメージがもてるようにし、それぞれの児童がテーマを一つ決めて、詩を書きました。

詩を書くために、まずはテーマに関係するキーワードを書き出し、思いつく文章をメモ用紙に書く活動をしました。

次に、キーワードをつなぎ合わせたり、文章を書いたメモの順番を並び替えたりしながら、言葉の響きやお話の流れなどを考え、より伝わりやすい詩になるように工夫しました。

本児童が書いた「友だち」は、テーマを「好きな友だち」として、大好きな十人の友だちの動きを、言葉で表現した作品です。

絵を描くのが好きな本児童は、昨年度からよく「好きな友だちが沢山集まって、色々なポーズをとっている絵」を描くのが好きでした。詩を作る授業の日にも、その絵を描いたので、「この絵はみんな、どんなポーズをしているの？」と指導者が聞き、本人が説明する言葉をメモし、それを文章にしました。「みんながポーズをとって、最後になんて言うかな？」と聞くと、「みなさんで、いっしょに、まいりましょう！」と答えたので、その言葉を詩の最後につけています。

乗り物やコマ、テレビ番組のワンシーンなど、自分の興味がある絵を何枚も繰り返し書く本児童が、昨年度から友だちや先生など“人物”の絵を描くようになり、様々なポーズを描いて楽しんでいきます。友だちや先生の様子について、楽しく絵に表している児童が、初めてその様子を、自分の言葉でいきいきと表現した作品です。